



ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

2013-14年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長：ロン D・バートン 2800地区ガバナー：新関 彌一郎 ガバナー補佐：高橋 一夫
 会長：松田 勝彦 幹事：菊地 賀治 会報委員会 委員長：土田 貴英
 委員：金田 亮一 阿部 浩一 太田 昭一 出山 和彦 東内 修司

第2029回例会

2014-2/22 (土) 天気 (曇り)

- 例会場：ホテルキャッスル □ 司会進行 (SAA)：遠藤 涼一 君
- 点 鐘：PM 2:30 安孫子俊彦 会長(山形東RC) □ ロータリーソング：「国歌」「奉仕の理想」

第5ブロック Intercity Meeting — インターシティミーティング —

ロータリーで豊かな人生を

プログラム	
14:00	登録開始
14:30	開 会 司会SAA 遠藤 涼一 君
	開会点鐘 ホストクラブ会長 安孫子俊彦 君
	国歌、ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」 ソングリーダー 八鍬 佳史 君
	開会挨拶 I.M.実行委員長 玉井 恒 君
	出席クラブ紹介 I.M.実行委員長 玉井 恒 君
	歓迎の言葉 ホストクラブ会長 安孫子俊彦 君
	来賓挨拶 2800地区ガバナー 新関彌一郎 君
15:00	特別講演 講師紹介/I.M.実行副委員長 庄司 武彦 君 講師/袖月 裕子氏 (作家) 演題 「山形で書くということ」
	お礼の言葉 ホストクラブ会長 安孫子俊彦 君
16:30	講 評 I.M.リーダー 2800地区第5ブロックガバナー補佐 千歳 徹 君 次期開催クラブ紹介 2800地区第5ブロックガバナー補佐 高橋 一夫 君 次期ホストクラブ挨拶 山形RC会長 中村喜兵衛 君
16:45	閉会点鐘 ホストクラブ会長 安孫子俊彦 君
17:15	懇 親 会 司会 深瀬 俊路 君 アトラクション 乾 杯 2800地区パストガバナー 細谷 伸夫 君 ロータリーソング「手に手つないで」 ソングリーダー 八鍬 佳史 君
18:45	閉 会



ホストクラブ会長 安孫子俊彦 君

本日、国際ロータリー第2800地区第5ブロックのインターシティミーティングを開催するにあたり、ブロック内の多くのロータリアンの皆様にご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。ホストクラブとして山形東ロータリークラブ会員一同から感謝と歓迎を申し上げます。

今年度のRIのテーマは、「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」です。これに呼応して、今回のインターシティミーティングのテーマを「ロータリーで豊かな人生を」としました。個々の人の価値観が多様であることに相応して、豊かさの指標も多様です。しかし、本日参加のロータリアンの皆様とは、ロータリーの中核的価値観を共有しております。ロン・D・バートンRI会長は、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々活かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらすことができるかが見えてくると同時に、ロータリアン自身の人生が一番豊かになるはずだと述べられています。私達は、ロータリーを学ぶ場であるこのインターシティミーティングにおいて、今年度のRIのテーマの意味をもう一度確認したいという思いから本日のテーマとなった次第であります。

本日は特別講演の講師として、推理作家の袖月裕子さんをお迎え致しました。袖月さんは、現在山形市在住で、山形で作家活動すると意義を見込んでいるとのことですので、講演を通じて、本日参加のロータリアンの皆様に山形での豊かな人生を感じていただければ幸いです。

最後に、玉井恒行委員長を中心に会員一同準備を進めて参りましたが、至らぬ点はお海容の上、最後までゆっくり親睦の輪を上げて下さいますようお願い申し上げます。



I.M.実行委員長 玉井 恒 君

本日、新関彌一郎ガバナーをはじめ、第5ブロック内の各パストガバナーをお迎えし、また、多数のロータリアンの参加をいただき、国際ロータリー第2800地区第5ブロックのI.M.を開催するに当たり、皆様方に歓迎の意を表させていただきますとともに、暑く感謝申し上げます。

今年のRIテーマは「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」ですが、これを受けて、I.M.のテーマを「ロータリーで豊かな人生を」としました。I.M.は、ブロック内のロータリアンの親睦を図り、様々な情報を得てロータリーについて学ぶことを目的としておりますが、これらは人生を豊かに過ごすために必要なことであり、今回のI.M.のテーマはI.M.のそもそもの目的に沿うものであると思っております。

そこで、このたびのI.M.では、まず、山形で作家活動をされている袖月裕子氏に「山形で書くということ」というテーマでご講演を頂き、岩手県出身者から見た山形の素晴らしい点と、これまでの著作に秘められた制作の趣旨や意図をお話し頂くことになっております。

また、アトラクションとして、山形芸妓連と山形舞子による「山形とところどころ」と題しての踊りを企画しておりますが、このうち、30数年前に最上義光公の生涯を偲んで作られた「風雲山形城」という滅多に目にすることのできない踊りが披露されることになっております。

このような講演とアトラクションは、ロータリーを通して人生を豊かにすることに資するものであると思っておりますので、親睦を深め頂き、これからのロータリー活動にお役に立てて頂ければと思っております。

最後に、山形東ロータリークラブの会員一同、全力で準備をして参りましたが、行き届かない点については、ロータリアンの友情に免じてお許し頂きたいと思っております。

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日
山形西 山形イブニング	山形中央	山形	山形北	山形東



RI第2800地区ガバナー 新関 弥一郎 君

多くの参加を頂き、しかも、謝辞盛会長代理より高い評価を頂いた2800地区大会も盛会裏に終了致しました。さらに公開講座「ナスカの研究」に対する興味が、多くの方々に広がりを見せており、意義ある大会であったと思っております。ご協力に感謝申し上げます。

このほど、千歳威、高橋一夫ガバナー補佐の意を受け、山形東クラブがホストクラブとなり、第5ブロックインター・シティ・ミーティングを開催される運びとなりましたこと、心より喜び申し上げます。I.M.は、ブロックの会員の研修と親睦を目的として開催されるものです。今年度も当初の目的が達成されますようご期待申し上げます。今年度は、折り返し点を通過しましたが、まだやらなければならない事業が多々あります。このI.M.で得られるロータリアンとしての繋がりを大切に、残された奉仕事業に活かして欲しいと思います。

さて、この度の地区大会の記念事業で、皆さんから頂いた東日本震災復興支援金を山形県主催の「やまがた避難者支援協働ネットワーク」に寄付させて頂きました。また、ネットワークのボランティアグループは、さらに、私もロータリークラブへ支援活動の協力を願っています。ボランティアグループから支援協力要請がありましたら、クラブでお考え頂き、可能な限り手をお貸し頂きたいと考えます。

現在、私の重点項目の実践として、多くのクラブが独自のアイデア企画で県内の避難者へ手を差し伸べています。また、地区補助金事業も仕境内へ、いよいよまとめの時期を迎えようとしています。このように、多くの奉仕の実践が展開されております。心から感謝申し上げます。

さらにロータリーとして内部重点項目として、永遠の課題の会員増強が有ります。今年度「ひとり一人」という地区全体で紹介し合うことを提案しましたが、まだまだ十分な成果は得られていません。しかし、クラブ努力が実り、入会者も増加しつつあります。新会員を迎えるということは、クラブの活性化に直接つながります。

本日のI.M.が第5ブロックの活性化の一助になりますことをご祈念申し上げ、挨拶と致します。



第5ブロックガバナー補佐 高橋 一夫君

～ロータリーで豊かな人生を～
この機会に、我が身を振り返ってみましょう。
もし、ロータリークラブの会員でなかったら、どんな私になっていた
だろう。と。

「……………」

なんと、答えを思い浮かべることができないのです。
家族、同級生、先輩、後輩、先生、職場の上司部下同僚、その他人生の関係者。
違うです。ロータリーで知り合った方々は、なんなんでしょうかねえ。この違いは、
山形七日町とある酒場に迷い込んだ情景。

「あつ、な～んだ、またここにいるのかあ。お主は、好きだなあ。」
「おいおい、「お主も」、だろう。お前が、ここにいるから、それを認識できるんだぞ。」
「相変わらず、理屈っぽいなあ。それが、お前の悪い癖だよ。」
「オイオイ。お前にだけはいわれたくないなあ。」

こんな、軽口を、叩きあいながら、隣に座って、しかも、カウンター越しにいらっやる素敵な美女を、たわいない会話と一緒に引き込んでゆく。
この、何の変哲もない行動が、打合せなく連動し、時間と空間を満たしてゆくのです。それも、互いに見合ったロータリアンだからという事だけで。

私はすきです。この、このような関係。【ヒト】として豊かでしょう。
ということで、表記のテーマでの、I.M.の開催、まことにおめでとうございます。



○本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	54名		28名	
前回修正	54名	46名	46名	100.0%
他クラブで メイクアップ された会員	(山形) 佐々木吉嗣 山出 和彦 (山形北) 土田 貴英 太田 昭一	土田 貴英 太田 昭一 茨木 寛司 佐々木吉嗣	茨木 寛司 土屋 敏夫 土屋 敏夫 宮舘 順治	木村 政則 出山 和彦 伊勢 和正

※本日の結果は2週間後に報告 ※修正は2週間前の結果報告
出席会員数÷算出会員数=出席率
算出会員数とは? 出席義務会員+メイク免除会員の出席者
出席会員数とは? 出席義務会員の出席者+メイク免除会員の出席者+メイク会員

特別講演

「山形で書くということ」

柚月 裕子氏
〔作家〕



プロフィール

1968年岩手県生まれ。山形県在住。「小説家(ライター)になる」講座を受講し、2008年に『臨床真実』(現在宝島社文庫)で、宝島社主催の第7回「このミステリーがすごい!」対象を受賞。2010年5月に法廷ミステリー『最後の証人』(宝島社文庫)を刊行。2011年11月に『検事の本懐』(宝島社)を刊行し、本作は第25回山本周五郎賞の候補にノミネートされ、第15回大藪春彦賞を受賞した。最新作は、2013年9月に刊行した『検事の死命』(宝島社)。本作は『最後の証人』『検事の本懐』に続く佐方真人シリーズ第三作目となる。

